

令和3年1月29日(金)

介護ロボットの開発・実証・普及の プラットフォーム構築事業の取組 【窓口業務】



社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
介護すまいる館【福祉機器展示場】

山野邊 明美



介護ロボットプラットフォーム



本日の内容

- 1 埼玉県社会福祉協議会（介護すまいる館）について
- 2 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業
窓口業務の概要
- 3 介護すまいる館での本事業の取組
- 4 コロナ禍の中で



介護ロボットプラットフォーム



1 埼玉県社会福祉協議会（介護すまいる館）について

社会福祉協議会とは

- ・地域福祉の推進を図ることを目的とする民間団体（社会福祉法に規定される社会福祉法人）
- ・各行政区（市区町村・都道府県）ごとに設置

主な事業から

ボランティア支援

- ボランティアの養成や支援
- 災害ボランティア支援

生活困窮者支援

- 生活困窮者への支援としての自立相談
- 生活福祉貸付等

福祉人材の養成

- 福祉の職場の就職斡旋
- 福祉従事者・民生委員への研修

福祉施設の支援

障害者施設・児童施設・
社会福祉法人の経営者
団体などの事務局の受託



1 埼玉県社会福祉協議会（介護すまいる館）について

介護すまいる館【福祉機器展示場】とは

- ・平成元年1月 オープン（シルバーサービス情報公社が運営）
- ・平成9年4月 埼玉県社会福祉協議会が運営を引継ぎ
- ・平成13年4月 現在地へ移転。現在は、指定管理事業として運営。

- ・約1300点の福祉用具展示
 - ※福祉用具供給協会協力
- ・昨年度はのべ約5万人利用
- ・看護学校等の学びでも活用
- ・ケアマネ等福祉従事者も来館





1 埼玉県社会福祉協議会（介護すまいる館）について

- ・ホームページ【見学募集や福祉用具レビュー】

- ・YouTube【介護すまいる館の説明】

- ・Facebook(シャキたまくん通信)【各行事の案内】

● 介護すまいる館の紹介動画【ショートVer】





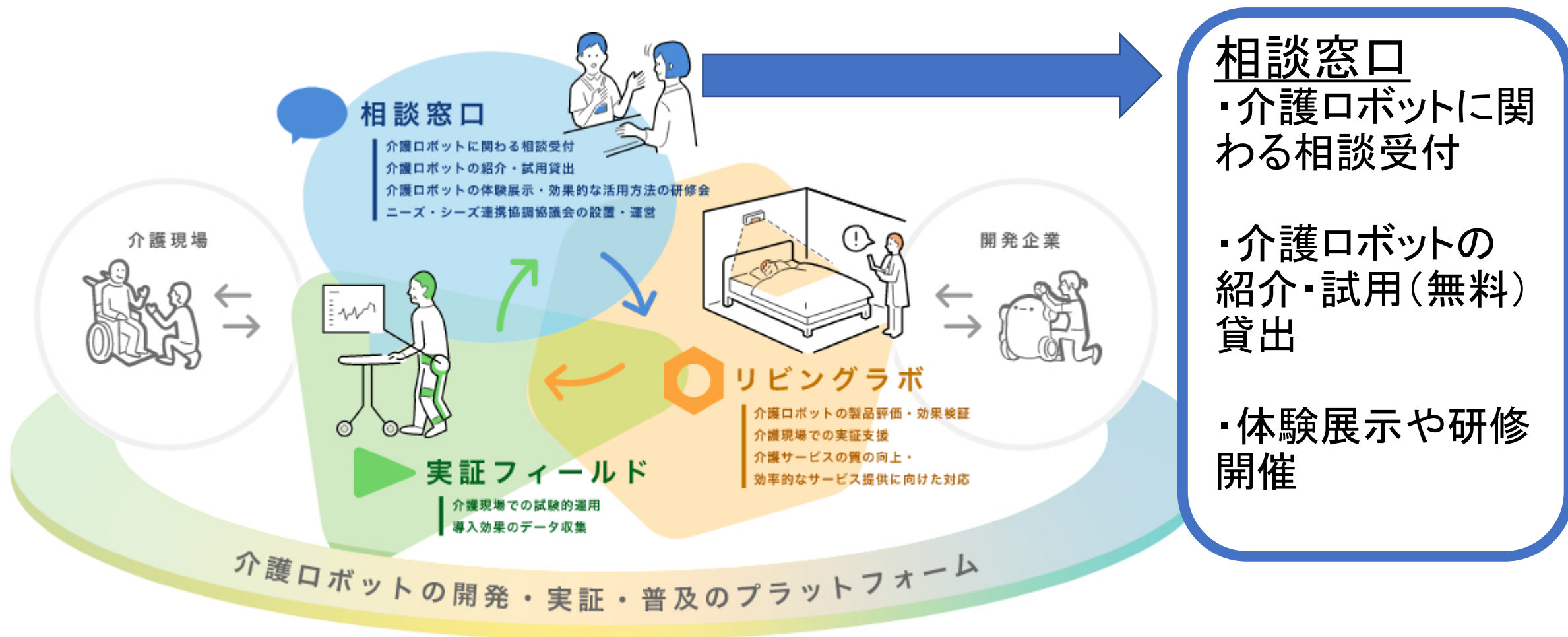
2 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業（以下「PF事業」） 窓口業務の概要

事業概要

介護人材の不足が深刻な社会的課題となる中、その解決策の一つとして、高齢者の自立支援の促進、質の高い介護を実現するためのICTや介護ロボットなどのテクノロジーの活用が期待されています。一方で、介護現場では、「どの種類の介護ロボットを選んでよいのかわからない」、「現場が忙しく業務改革に取り組めない」といった声も少なくありません。また、開発企業は、より介護現場のニーズに合った製品開発を進めていくことなどが求められています。

本事業は、地域における相談窓口の設置、介護ロボットの評価・効果検証を実施するリビングラボ（開発の促進機関）を含む関係機関のネットワークの形成、実証フィールドの整備などを行うことで、全国にプラットフォームを構築し、介護ロボットの開発・実証・普及の流れを加速化することを目指しています。

2 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業（以下「PF事業」） 窓口業務の概要



相談窓口

・介護ロボットに関わる相談受付

・介護ロボットの紹介・試用（無料）貸出

・体験展示や研修開催

令和2年度 介護ロボット 試用貸出リスト

無料貸出を行っています。

1. 移乗支援(装着)

企業名	機器名称
CYBERDYNE株式会社	HAL*腰タイプ介護・自立支援用

2. 移乗支援(非装着)

企業名	機器名称
株式会社FUJI	移乗サポートロボットHug L1
株式会社FUJI	移乗サポートロボットHug T1
マッスル株式会社	ROBOHELPER SASUKE

3. 移乗支援(屋外)

企業名	機器名称
RT. ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカーRT. 1
RT. ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカーRT. 2

4. 排泄支援(排泄処理)

企業名	機器名称
アロン化成株式会社	水洗ポータブルトイレ キューレット
株式会社エフエー・ジェイ	おむつモニター(排泄通知システム)
株式会社キュラコジャパン	自動排泄処理装置 キュラコ
株式会社リバティソリューション	自動排泄処理装置 リバティひまわり

5. 排泄支援(トイレ誘導)

企業名	機器名称
トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社	DFree Professional

試用貸出終了後、貸出先事業所にはアンケートに回答いただく。

この内容を、今後の介護ロボット開発等に活用

図の引用【次頁含む】
介護ロボットの試用貸出リスト
令和2年7月3日現在
厚生労働省
公益財団法人テクノエイド協会

6. 見守り・コミュニケーション(施設)

企業名	機器名称
株式会社アラソフトウェア	eye-BoxシリーズsmartR
株式会社アルコ・イーエックス	ベイシエントウォッチャープラス
株式会社エイビス	エイビスみまもりシステム
エイアイビューライフ株式会社	A. I. Viewlife
加藤電機株式会社	見守りシステムSANフラワーX ヘルシーライフ
キング通信工業株式会社	シルエット見守りセンサ
コアフューテック株式会社	e伝之介くん
シーホネンス株式会社	ベッド内蔵型見守りセンサー「iサポート」搭載 Xシリーズ
凸版印刷株式会社	SensingWave®介護・睡眠見守りシステム
トーテックアメニティ株式会社	高齢者見守りシステム「見守りライフ」
ドーンコーラス合同会社	高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム「もりん/2」
株式会社ヒート	見守りロボット「みてるもん」
株式会社フジクラエンジニアリング	どこでもナースコール・見守りシステム
フランスベッド株式会社	見守りケアシステム M2
株式会社ミオ・コーポレーション	離床センサー
株式会社メディカルプロジェクト	離床・見守りセンサー ナースコール連動タイプ
株式会社リンクジャパン	見守り支援システム「eMama」

7. 見守り・コミュニケーション(在宅)

企業名	機器名称
株式会社トレイル	うららかGPSウォーク
ユカイ工学株式会社	B0000

8. 見守り・コミュニケーション(生活支援)

企業名	機器名称
株式会社レイトロニクス	音声認識コミュニケーションロボット「Cherit」(チャリット)



介護ロボットプラットフォーム

相談窓口 紹介



相談窓口

- ・全ての窓口で、ZOOMでの相談も可能
- ・施設・事業所のほか、開発企業からの相談も受け付けており、専門機関に取り次ぐことも可能

A. (福) 北海道社会福祉協議会 北海道介護ロボット普及推進センター

B. (福) 青森県社会福祉協議会 青森県介護啓発・福祉機器普及センター

C. (公財) いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター

D. (福) 埼玉県社会福祉協議会 介護すまいる館

E. (社) 横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター 介護ロボット相談窓口

F. (福) 富山県社会福祉協議会 福祉カレッジ 介護実習・普及センター

G. (国研) 国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター

H. ひょうごK O B E 介護・医療ロボット開発支援窓口

I. (社) 健祥会 徳島県介護実習・普及センター

J. (一社) 日本福祉用具供給協会 広島県ブロック

K. 九州介護ロボット開発・実証・普及促進センター

図の引用： P F 事業 H P (<https://www.kaigo-pf.com/soudan/info.html>) より



3 介護すまいる館での本事業の取組



① 広報 介護すまいる館HP内に特設ページを作成



福祉・介護用品の総合展示館

介護すまいる館

社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会

[アクセスマップ](#) > [サイトマップ](#) >

✉ メールでのお問い合わせ

お問い合わせはこちら
☎ 048-822-1195

[Home](#)

[すまいる館とは](#)

[展示・販売のご案内](#)

[介護保険で利用できる福祉器具](#)

[団体見学・研修会・貸出](#)

[福祉用具のQ & A](#)

[ホーム](#) > [すまいる館とは](#) > [介護ロボットの相談・展示・貸出を始めました](#)

介護ロボットの相談・展示・貸出を始めました

介護すまいる館では、厚生労働省事業「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業」を受託し、8月4日（火）から開始いたしました。

詳細は、随時更新してまいります。

※福祉新聞から取材を受け、掲載されました。[詳しくは、こちら](#)

※来館が難しい場合、web（zoom）でのご相談も受け付けております。その場合は、まずお電話をお願いいたします。

[福祉・介護用品の総合展示館とは？](#)

[介護すまいる館の業務について](#)

[介護すまいる館について](#)

[介護ロボットの相談・展示・貸出を
始めました](#)





3 介護すまいる館での本事業の取組



① 広報 介護ロボットレビューを掲載

介護ロボットレビュー

介護すまいる館の展示品の中から、相談員が注目する、自立支援や介護に役立つ介護ロボットをご紹介します。

こちらに記載の介護ロボットは、「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業」で、福祉施設での試用のための貸出が無料でできます。

- ＞ [見守りケアシステムM2](#)
- ＞ [ROBOHELPER SASUKE サスケ](#)
- ＞ [Chapit 音声認識コミュニケーションロボット\(チャピット\)](#)
- ＞ [Hug_T1-02](#)



3 介護すまいる館での本事業の取組



介護ロボットプラットフォーム

福祉施設の皆様へ 介護ロボット 相談窓口



介護ロボット試用貸出 無料！

相談窓口の取り組み



介護ロボットの試用貸出の受付、貸出企業への取次ぎを行います。

展示ロボットの体験ができます。

介護ロボットに関する相談 業務改善方法の紹介、導入事例、製品情報や補助金・基金の紹介等を行います。

電話 048-822-1195

受付時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
第1日曜日・年末年始



社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 介護すまいる館

〒330-8529 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 影の国すこやかプラザ1階

介護ロボット事業の詳細はホームページをご覧ください

介護すまいる館介護ロボット

検索



① 広報 担当県所在施設にチラシ配布

当館の窓口担当県（埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県）所在の特別養護老人ホーム、老人保健施設全てにチラシ配布

① 広報 取材対応

1 福祉新聞（令和2年8月24日号）

2 NHK 首都圏ネットワーク
（令和2年10月29日放送）

3 介護のニュースサイトJOINT
（令和2年12月16日掲載）

※1・3は、現在も各HPで閲覧可能



3 介護すまいる館での本事業の取組



② 連携 埼玉県老人福祉施設協議会（老施協）

老施協へ当館からPR

- 老施協主催会議や研修等の際に当事業の説明を行った
- 老施協役員に展示の介護ロボットを体験いただいた
- 会員向け広報誌に本事業を掲載いただいた

老施協の協力

- 既存の委員会を窓口に、当館との連携を強化
- 老施協主導で、県、本会の三者での連携会議を開催
→会員向け広報誌に掲載し情報発信
- 介護ロボット利用実態調査を実施



3 介護すまいる館での本事業の取組



③ 実際の相談内容から

本事業のことを詳しく知りたい

試用貸出を利用したい
(埼玉県以外からも有)

どんな介護ロボットが使用
貸出できるのか実際に見たい

④ 実際の相談対応から

来館いただき、展示している介護ロボットを体験してもらい試用貸出の検討をしていただいた(緊急事態宣言時以外)

試用貸出リストにない介護ロボットについては、メーカーへの仲介
・調整を行った

「●●の介護ロボットを借りたい」という具体的な相談の場合、なるべく早く貸出できるよう調整した

「●●も試用貸出リストに入れてほしい」といった要望も受け付け受託元へ報告した



3 介護すまいる館での本事業の取組



⑤ 相談及び利用の傾向

既に介護ロボットの導入を検討していた法人からの試用貸出依頼が多い

移乗・移動支援の介護ロボットの試用貸出申込が多く、貸出期間の調整（変更）が必要

来館しての相談の際には、責任者+現場スタッフの組み合わせが多い

1種類のみでなく複数種類希望するケースが増えている

「〇〇の記事（報道）を見て知った」という相談もあった

殆どが高齢者施設からの相談だが、障害者施設からの試用貸出希望もあった

試用貸出の結果「当施設では、サイズの使用が難しい事が分かった」と、導入に至らないケースもあった



3 介護すまいる館での本事業の取組



⑥ 介護すまいる館としての効果

本事業を受託して、介護ロボットの展示が充実した

- 無料では介護ロボットの展示が難しいケースもあった
- 本事業をきっかけに、無料での展示をしてくれるメーカーもあった

介護ロボット・福祉用具利用の相乗効果が出てきた

- 介護ロボットの試用貸出目的で来館した事業者が、福祉用具も見学した結果、事業所での導入をしたり、利用者（家族）にPRしてくれるようになった



4 コロナ禍の中で



緊急事態宣言等の理由で、介護すまいる館自体が対面の相談を原則休止にしたことで「実際に見たり、館内で試用する」ことが難しくなっている
(zoomでの相談は対応)

「同法人内で新型コロナ陽性者が出たため」と、来館での相談予約や試用貸出がキャンセルになったケースもあった

集合研修の実施が難しいことから、研修開催時等にPRすることができなくなっている
(今年度の介護すまいる館主催の研修は全てオンライン)

まとめ

- 本事業PRのお願い（口コミも、HP等のシェアも）
 - 共通（<https://www.kaigo-pf.com/>）
 - 介護すまいる館
（<https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/care-smile/>）
- まずは、お電話での相談を
事業所は試用貸出の活用を（試用後の導入は必須ではない）
- 開発企業からの相談も受付
- 緊急事態宣言中は特に、HP、ZOOM相談の活用も